

かながわ人生100歳時代ネットワーク

「団体活動紹介」



かながわ福祉サービス振興会
Kanagawa Welfare Service Association

「かながわ福祉大学校開講と
共生社会推進機構設立準備」

かながわ福祉サービス振興会の歩み～時代の先駆け(全国初、神奈川県初の試み)～

- ◆ 情報 インターネットを活用した情報提供システムの試験稼働（全国初）（平成10年2月）
→ 「**介護情報サービスかながわ**」、**情報公表制度**、**地域包括ケア推進システム**に発展
- ◆ 評価 サービスの質を高める「**介護サービス評価制度**」を開始（全国初）（平成13年4月）
→ 第三者評価、外部評価、認証制度に発展
- ◆ 経営支援 **介護ロボット・ICTの実証実験開始**（全国初）（平成22年4月）、経営支援事業に発展
- ◆ 人財育成 現場のニーズを把握しながら、現場に役立つ研修、セミナーを展開（平成9年4月）
→ 共生社会を推進する人財育成事業に発展 → **かながわ福祉大学校**
- ◆ 市町村支援 指定**情報公表センター・調査機関**の指定（県内初）（平成18年4月）
認定調査業務の開始（県内初）（平成20年4月）
運営指導業務の開始（県内初）（平成27年4月）

「かながわ福祉ビジョン2040」への取り組み

かながわ福祉ビジョン2040に掲げた「6つの提案」を踏まえ、令和5年度からの取り組みを具体化

《福祉ビジョン 6つの提案》

- ① 頼り合える社会
- ② 「福祉サービス」から「生活サービス」へ
- ③ 学び合いがつむぐ「共にある心」
- ④ 人を育て、地域を育てる
- ⑤ プラットフォームビルダー
- ⑥ 私たちが変わるために大切なこと

カテゴリー	既存事業
1 情報	従来の 高齢 障害 子育て の縦割り
2 評価・経営支援	
3 人財育成	
4 市町村支援	

中期経営計画での取り組み

カテゴリー	新規事業 【福祉ビジョン推進】	既存事業
1 情報		1 情報 ~ 5 共生× 生きがい の分類で 再編、実施
2 評価・経営支援		
3 人財育成	かながわ福祉大学校 の創設	
4 市町村支援	行政と共にプラット フォームの構築	
5 共生×生きがい (新設)	共生社会づくりの推進	

かながわ福祉ビジョン2040を具体化するために、
新たに3つの事業を構想し中期経営計画に位置づけ

かながわ福祉大学校の創立

介護・福祉事業所における職員の確保及び人財育成ニーズの増大
利他の精神をもって介護・福祉現場で働く人財へのニーズの増大
地域包括ケアシステムを進化させ、地域共生社会づくりを目指す必要性

かながわ福祉大学校の事業展開

令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
◆カリキュラム検討委員会を設置 ・ 公共政策課程 ・ 介護・福祉専門課程 ・ 地域共生社会づくり課程 ◆校務システムの開発 ◆デジタルコンテンツの検討	◆ <u>かながわ福祉大学校創設</u> ・ 公共政策課程 ・ 介護・福祉専門課程 ・ 共生社会づくり課程 ◆校務システム運用 ◆デジタルコンテンツ制作	◆3つの課程をブラッシュアップ ・ 公共政策課程 ・ 介護：福祉専門課程 ・ 共生社会づくり課程 ◆eラーニング開始 ◆出版事業

かながわ福祉大学校の理念

「利他の精神を学び、幸せに生きるための知性を磨く」

＜教育目標＞

一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていくため、自らの人間力を磨き、暮らしの課題を発見、解決することに向けて積極的に取り組み、地域を共創できる人材を社会に送り出すこと

＜育成人材像＞

- 自らアップデートし、変革し続けるリーダー
- 地域福祉の核となる介護・福祉現場の革新を推進するリーダー
- 地域共生社会づくりを推進するリーダー

かながわ福祉大学校の学びの特徴

「講義とディスカッションを通じて学びを深める」

＜カリキュラムの基本形＞

一つの科目（ジャンル）につき、座学と学生同士・講師とのディスカッションをセットとして展開

○**公共政策**課程：土曜日午後（集合形式 13:20～16:30）

○**介護・福祉専門**課程（次世代リーダー養成コース）：金曜日夜間（集合形式18:00～21:10）

※各課程の学生が受講できる「**共通講座**」を設定

＜その他のコース＞

座学を中心に展開

○**介護・福祉専門**課程（管理者養成講座）：平日午後（集合形式）

○同（総合基礎講座・かなふくセミナー）：オンライン・オンデマンド配信が中心

○**共生社会づくり**課程：原則として平日（集合形式）

大学校がつなぐ学生・卒業生ネットワーク

「大学校の仲間が力を合わせて地域共生社会づくり」

＜様々な分野の人々が一堂に会して学ぶ＞

介護・福祉サービス業界だけでなく、行政・議会・社会福祉協議会、地域住民、介護・福祉業界以外の企業など、かながわ福祉大学校は広く門戸を開いて、学生の皆様を受け入れます。

＜卒業後のネットワーク＞

大学校で学んだあと、それぞれの職場・現場へ戻ってから、新たなチャレンジを進めてほしい：一人では不安なことも、仲間がいれば乗り越えられます。

そうした新たな人と人との関係を創っていくため、大学校は卒業生の皆さんのつながりづくりを全面的に応援します。

＜かながわ福祉大学校 校長＞

井手 英策

慶應義塾大学経済学部教授

(公社)かながわ福祉サービス振興会常務理事

- 東京大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。日本銀行金融研究所、東北学院大学、横浜国立大学等を経て現職。
専門は財政社会学、産業社会学。総務省・全国知事会・全国市長会の各種委員等を歴任。
- かながわ福祉ビジョン2040策定委員会委員長としてビジョンの取りまとめを主導
- 著書
「経済の時代の終焉」2016年岩波書店／第15回大佛次郎論壇賞受賞
「どうせ社会は変えられないなんてだれが言った？ベーシックサービスという革命」2021年小学館 ほか多数



多彩な講師陣(公共政策課程)

名和田 是彦

法政大学法学部 教授

- 地域コミュニティ政策研究の第一人者
- 横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会委員長を務める。
- 町田市住みよい街づくり条例の改定検討に委員として積極的に携わる。
- 著書「コミュニティの自治」2009年日本評論社 ほか多数



牧瀬 稔

関東学院大学法学部

地域創生学科 教授

- 自治体政策学の第一人者
- 社会工学研究所、横須賀市都市政策研究所、日本都市センター研究室、地域開発研究所等を経て現職
- 著書「地域ブランドとシティプロモーション」2018年(編著)東京法令出版 ほか多数



磯崎 初仁

中央大学法学部 教授

- 政策法務論の第一人者
- 神奈川県福祉政策課、市町村課等を経て現職
- 2024年衆議院総務委員会に参考人として招かれ、地方自治法改正法案に対し「包括的指示権」に反対の立場から意見を述べた。
- 著書「自治体政策法務講義」2012年第一法規 ほか多数



河村 昌美

事業構想大学院大学

事業構想研究所 教授

- 公民連携推進の第一人者
- 全国で地域活性化・地方創生、SDGsに関する新規事業を自治体・企業と展開
- 横浜市政策局共創推進室で課長補佐を務め、全国初の「広告・ネーミングライツ事業」を手がける。
- 著書「公民連携の教科書」2020年事業構想大学院大学出版部



多彩な講師陣(公共政策課程)

齊藤 ゆか

神奈川大学

人間科学部 教授

- ボランティア・NPO論の第一人者
- 横浜市市民協働推進委員、同市社会教育委員、小田原市社会教育委員等を歴任
- 著書「ボランティア評価学」2022年 ミネルヴァ書房 ほか多数



石山 麗子

国際医療福祉大学

大学院 教授

- ケアマネジメント論の第一人者
- 厚生労働省「ケアマネジメントに係る諸課題に関する検討会」メンバーを務める。
- 著書「アセスメントでつかむ！家族の対応が難しいケースのケアマネジメント術」2024年(編著) 第一法規 ほか多数



大原 一興

横浜国立大学 名誉教授

- 建築学から地域共生社会をデザインする先駆者
- 高齢社会における居住の場、生活の場、癒しの場づくりについて研究
- 福祉分野と住宅分野で分断されていた高齢者居住施設・高齢者住宅の統合データベースを開発
- 著書「居住福祉学」2011年有斐閣 ほか多数



加藤 洋一 医師

(新横浜かとうクリニック院長)

- 在宅医療・介護連携の実践家医師、がん末期の看取り多数
- 国立がんセンター研究所研修、東京女子医科大学非常勤講師等を経て現職
- 現在、聖マリアンナ医科大学講師、横浜市医師会代議員、横浜外科医会副会長
- 一般社団法人楽じゅ苑理事長として、港北区で医療・介護・福祉・生活支援ニーズを持つ高齢者の住まいを提供



多彩な講師陣(公共政策課程)

加藤 忠相

(株)あおいけあ代表取締役

- 藤沢市で「グループホーム結」「デイサービスいどばた」「小規模多機能型居宅介護おたがいさん」など、高齢・障害の分野を超えた複合的拠点を運営
- 入居者同士や地域住民との交流がデザインされた住まい「ノビシロハウス」を運営、地域共生社会づくりを実践
- NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」で、先端の介護現場の実例としてとり上げられる。



鈴木 智香子

NPO法人 街カフェ大倉山 ミエル 理事長

- 横浜のNPO界を牽引する第一人者
- 港北区でこどもから高齢者まで気軽に立ち寄れる街カフェを運営
- 横浜市内の随所で地域まちづくり支援活動を展開、まちづくり専門家のNPO「横浜プランナーズネットワーク」会員
- 市民活動中間支援NPO「市民セクターよこはま」理事長を務める。



大澤 靖史

神奈川県 福祉子ども みらい局 福祉部長

- 神奈川県の福祉行政のキーパーソン
- 障害、高齢、生活支援等の幅広い福祉行政分野を歴任
- 福祉の今日的課題への造詣が深く、解決に向けた県・市町村の連携を主導



太田 耕平

横須賀市経営企画部 デジタルガバメント推進室長

- 行政における生成AI活用の第一人者
- 都市政策研究所(現・都市戦略課)において「YOKOSUKAビジョン2030」策定に関わる。
- 企業・大学等と連携し、ヘルスケアデータ連結・分析システムを構築、デジタル人材の強化等に従事



多彩な講師陣(介護・福祉専門課程 次世代リーダー養成コース)

佐々木 淳

医療法人社団悠翔会 理事長

- 地域・在宅医療の救世主
- 首都圏及び愛知・鹿児島・沖縄県に合計25か所の在宅クリニックを開設・運営
- 「最期まで自宅で過ごしたい」と願うすべての人の想いに応えるため、24時間対応の在宅総合(訪問)診療を実施
- 医療・介護の多職種が共に学ぶ「在宅医療カレッジ」を主宰



熊谷 晋一郎

東京大学 先端科学 技術研究センター 教授

- 自ら脳性麻痺を抱えながら東京大学医学部を卒業し小児科医勤務を経て現職
- 「当事者研究」を研究テーマに据える。
- 著書「ブレイクスルーへの思考: 東大先端研が実践する発想のマネジメント」2016年(共著)東京大学出版会 ほか多数



馬場 拓也

社会福祉法人 愛川舜寿会 理事長

- 地域共生社会づくりの拠点「春日台センターセンター」の仕掛け人
- 地域に開かれた拠点に、小規模多機能型居宅介護・放課後等デイサービス・障害者就労継続支援事業所等を一体的に展開
- コモンズルームや寺子屋も併設され、こどもから高齢者まで、障害の有無に関わらず集える場所に



山崎 亮

関西学院大学 建築学部 教授

- コミュニティデザイン論の第一人者
- まちづくりワークショップ、市民参加型のパークマネジメント等のプロジェクトを主導
- 著書「ケアするまちをデザインする〜対話で探る超長寿時代のまちづくり」2019年 医学書院 ほか多数



多彩な講師陣(介護・福祉専門課程 次世代リーダー養成コース)

小澤 竹俊

めぐみ在宅クリニック 院長

- 在宅での看取りを推進する医師リーダー
- 救命救急センター勤務、農村医療に従事した後、横浜甕生病院内科・ホスピス医、同院ホスピス病棟長を経て開業
- (一社)エンドオブライフ・ケア協会設立に参画し、現在、同協会理事
- 著書「あなたにもできるスピリチュアルケア」2024年医学書院ほか多数



丹野 智文

おれんじドア 代表

- 行動する認知症当事者
- 自動車販売会社に勤務していた38歳の時に、若年性アルツハイマー病の診断
- 自身の実体験が映画化された「オレンジ・ランプ」が2023年に公開された。
- 認知症当事者が認知症患者の悩み相談に応じる活動団体「おれんじドア」を主宰



山本 千恵

神奈川県 福祉子ども

みらい局 共生担当局長

- 地域共生社会づくりを推進する県庁のリーダー
- 公益財団法人さわやか福祉財団への出向経験があり、地域・NPO活動に造詣が深い。
- 福祉分野、県民活動支援分野の経験が豊富



瀬戸 恒彦

公益社団法人かながわ

福祉サービス振興会 理事長

- かながわ福祉大学校の創始者
- 24年にわたり(公社)かながわ福祉サービス振興会を牽引し、専門性とDXの力を活かして福祉・介護業界や行政の課題解決に尽力
- 元神奈川県職員として、介護保険制度の立ち上げ、介護サービス事業所の連携強化に取り組む。かながわ福祉大学校で新たな人材育成に挑戦する。



1

かなふくグループが目指すもの

わたしたちは、人づくり、組織づくり、地域づくり、自治体支援をとおして、神奈川県民の福祉の向上はもとより、日本国民の福祉と地方創生に貢献する。

公益社団法人
かながわ福祉サービス
振興会（平成8年度創立）

一般社団法人
かながわ福祉大学校
（令和7年度創立）

かなふくグループ

一般社団法人
かながわ福祉総合研究所
（令和7年度創立）

一般社団法人
共生社会推進機構
（令和7年度創立）

かなふくグループ再編後の各法人が目指す事業の方向性

(公社)かながわ福祉サービス振興会

※指定都道府県・市町村事務受託

行政が変わる！

法人として、自治体の頼れるパートナーであり続ける

○総合的・分野横断的な情報発信

・介護サービス情報、障害福祉サービス情報、子育て支援サービス情報、生活支援サービス情報

○介護サービス情報公表制度運用のハブ機能

○運営指導(介護サービス・障がい児者サービス)

○要介護認定調査 等

(一社)かながわ福祉大学校

※新たな学びの機会を提供

個人が変わる！

○地域共生社会の実現に向けた効果的な政策を企画・立案できる公務員・地方議員を育成

○未来志向で改革を進める介護・福祉界のリーダー、マネージャーを育成

○地域活動の発展を牽引するリーダーの育成

○総合的、分野横断的な学びの機会の提供

○大学、民間教育機関等との幅広い連携 等

(一社)かながわ福祉総合研究所

※全国展開を見据えて事業を推進

組織が変わる！

○ロボット・ICT導入支援

・介護生活支援ロボット普及推進協議会・活用研究会

○介護サービス評価／コンサルテーション

○ITソリューション／システム開発及び販売

○介護福祉事業の総合的な経営支援

・人材確保育成、生産性向上、M&A支援 等

(一社)共生社会推進機構

※地域活性化、地方創生に

地域が変わる！

向け、県内自治体と共にまちおこし事業を展開

○地域共生社会の拠点づくり

○フレイル予防・生きがいづくりの普及促進

○大学校の学びの実証フィールド提供

○かながわ福祉総合研究所との事業連携

○空き家等の遊休不動産活用 等

かなふくグループ各法人の役割分担

(公社)かながわ福祉サービス振興会

- 介護サービス情報提供
- 障害福祉サービス情報提供(障害者IT利活用推進)
- 子育て支援情報提供
- 介護情報公表センター
- 介護情報公表調査
- 要介護認定調査(認定DXを含む)
- 介護サービス事業所運営指導
- 障害サービス事業所運営指導
- 体制届・処遇改善加算の書面審査
- 障害者権利擁護センター
- 障害者差別相談窓口
- 医療的ケア児相談支援
- 女性の健康・未病サイト運営

(一社)かながわ福祉総合研究所

- 介護サービス評価・地域密着型サービス外部評価・かながわ認証
- 介護ロボット・ICT活用(導入補助金、介護・生活支援ロボット認証)
- 介護・生活支援ロボット普及推進委員会、同活用研究会事務局
- 介護事業経営マネジメント
- 個別避難計画作成支援
- 障害者グループホーム設立・運営支援
- 障害児者相談支援事業所開設促進
- 地域包括ケアシステム構築研修
- 重度障害者就労支援
- 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修
- 県立障害者支援施設コンサルテーション

(一社)かながわ福祉大学校

- 大学校各課程(公共政策課程、介護・福祉専門課程、共生社会づくり課程)
- かなふくセミナー・かなふく総合基礎講座
- 認知症介護実践者・実践リーダー研修
- 障害サービス管理責任者等研修
- 精神障害者ホームヘルパー研修
- 障害者相談支援従事者研修
- アレルギー疾患対策研修等
- 高齢者住み替え支援相談員養成研修
- 障害者ピアサポート研修
- 保育士養成校就職促進

(一社)共生社会推進機構

- ◎かながわ福祉サービス大賞
- ◎共生社会づくり課程
- ◎フレイル対策推進
- ◎地域包括ケア推進事業における専門職員等派遣事業
- ◎川崎市いこい広場事業
- ◎妊娠・出産関連情報サイト運営
- ◎小児慢性特定疾病サイト運営
- ◎孤独・孤立対策推進
- ◎シニアボランティアポイント
- ◎生活保護担当公務員スキルアップ研修
- ◎国土交通省空き家対策モデル事業
- ◎横浜市地域密着型事業所整備促進
- ◎シニアスポーツフェスタ・ねんりんピック
- ◎シニア美術展
- ◎地域共生づくり関連事業(横浜市中区、鎌倉市、三浦市等)

理念：地域住民や地域の多様な主体が分野や属性の壁を越えてつながり、誰もが支え合う地域共生社会の推進に寄与する

事業構想

地域共生社会づくりの推進		
令和7年度	令和8年度	令和9年度
令和6年度にモデル地区として関わり始めた横浜市中区・山北町・鎌倉市などをはじめとして、具体的な取り組みの計画を立てていく。神奈川県や横浜市、川崎市とは政策的な接点を持ち、意見交換を行っていく。	令和7年度に連携が組めた自治体において具体的な事業の展開を行っていく。神奈川県や横浜市、川崎市においては、プロポーザルの採択等をうけ、一緒に取り組みながら、その理念を神奈川県内に広めていく。	令和8年度に取り組んだ事業の成果を他の自治体に横展開していけるように、成果をまとめ県内外に広報活動を行っていく。神奈川県内の地域共生社会づくりの浸透をベースにして、県外にも理念と活動を広めていく。

ネットワーク団体の皆様へ

皆様と連携して神奈川県地域
共生づくりを推進していきます。
今後ともよろしくお願いいたします。



担当のご案内：



公益社団法人
かながわ福祉サービス振興会
共生社会推進本部
社会福祉士・理学療法士・上級フレイルトレーナー

本部長 **成田 慎一**

✉ naritas@kanafuku.jp



GIJP-0650-IC
ISO/IEC 27001:2013

〒231-0023 横浜市中区山下町 23
日土地山下町ビル 9 階
TEL:045-514-1182 / FAX:045-671-0295
<https://www.kanafuku.jp/>



公益社団法人
かながわ福祉サービス振興会
共生社会推進部 地域共生社会づくり推進課
社会福祉士

課長 **長田 泰史**

✉ osaday@kanafuku.jp



GIJP-0650-IC
ISO/IEC 27001:2013

〒231-0023 横浜市中区山下町 23
日土地山下町ビル 9 階
TEL:045-514-1183 / FAX:045-671-0295
<https://www.kanafuku.jp/>